

第512回望星講座

エネルギーと環境の未来を考える ー私たちは放射性廃棄物とどう向き合うかー

我が国のエネルギー事情を出発点に、原子力発電の役割と、それに伴い発生する高レベル放射性廃棄物の問題について解説します。次に、高レベル放射性廃棄物の特徴や、これまで検討されてきたさまざまな対策を紹介し、安全性や実現可能性の観点から地層処分が採用されている理由を説明します。また、天然の岩盤と人工バリアを組み合わせた多重バリアシステムによる地層処分の安全確保の考え方を、身近な事例を交えながら解説し、長期間にわたって放射性物質を隔離・閉じ込める仕組みを紹介。さらに、我が国における地層処分を行う処分地選定の仕組みやこれまでの経緯、現在の状況について概説します。最後に、地層処分は科学・技術だけでは解決できない「トランスサイエンス」の問題でもあることを踏まえ、地層処分を進める上での社会的合意形成の重要性について考えます。

2026年10月24日(土)

14:00 - 15:30 (質疑応答含む)

「会場受講」できます
(会場は望星学塾)

◆受講料：①望星学塾会員 **無料** ②一般 **1,000円**

当日受付にて支払い

◆参加方法：①望星学塾会員（会場またはオンライン） ②一般（会場のみ）

◆定 員：会場は先着**30名** オンラインは先着**50名**

<PROFILE>

専門は放射性廃棄物工学

【職歴】1996年4月 動力炉・核燃料開発事業団入社（現 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構）

2018年4月～ 東海大学工学部原子力工学科（現在は工学部応用化学学科）

放射性廃棄物処分の研究に長年従事し、放射性廃棄物を長期にわたって安全に処分するための地層処分の安全評価に関する研究に取り組んできた。近年は、福島第一原子力発電所事故廃棄物の処理・処分や、放射性廃棄物処分施設の社会受容性に関する研究にも取り組んでいる。また、2019年より世界各地で開催されているIAEA原子力安全国際スクールのファシリテーターを務め、国際的な人材育成にも携わっている。現在、日本原子力学会バックエンド部会長。



若杉 圭一郎 Wakasugi Keiichiro
東海大学工学部応用化学学科 教授

<受講方法> **事前申込が必要です。申込期日 10月23日（金）13:00厳守**

①望星学塾会員（会場またはオンライン）

・会場受講、オンライン受講ともにお送りしています
メールからお申込ください。

※申し込み登録が承認されますと、
<no-reply@zoom.us>より自動返信メールが届きますので、案内をご確認ください。

②一般（会場のみ）

・会場でのみの受講となります。
お電話にてお申込ください。

電話番号 **0422-51-0161**

（電話受付時間：月～金 **9:00～17:00**）

・講座当日は**13:30**より受付開始いたします。
受講料は当日受付でお支払いください。

おつりのないよう
ご用意ください

◆当日会場で受講される方はスリッパのご準備をお願いいたします。
◆悪天候時の開催の可否についてはホームページやFacebookに掲載いたします。

【お問合せ】

学校法人東海大学望星学塾 〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1-17-1
TEL:0422-51-0161 FAX:0422-53-1025 E-MAIL: bousei@tokai.ac.jp

ホームページ
Facebookは
右のQRコードから
それぞれのページへ
進んでください

